

【学年】	1 年
【教科・単元】	体育 体づくり運動「にんじゃになろう」
【実践内容】 ○体を動かす楽しさや心地よさを味わい、自分の体の状態に気付いたり仲間と豊かに交流したりするとともに、体の基本的な動きを総合的に身に付ける。 【授業の流れと児童の反応】 1. オリエンテーション ○「にんじゃ」という言葉から、イメージを膨らませる。 ・児童「手裏剣を投げるよ。」「よけるよ。」など ○児童の言葉を整理しながら好奇心をもたせ、学習に意欲を持たせる。 ・教師「修行するって言っていたね。みんなもやってみようか。」「どんな修行しようかな？」 2. 体のバランスをとる運動遊び ○「ぶんしんのじゅつ」（二人組） ①鏡になってポーズ ・向かい合い、鏡のように相手のポーズの真似をする。 ②影になって動く ・並んで立ち、前の児童に合わせて後ろの児童が動いたり止まったりする。 3. 体を移動する運動遊び ○「しゅぎょう」（よけたりかわしたりする動き） ①線の上、三角コーンの間、輪の中等を歩いたりかけたりする。 ・目の前の線や三角コーンと前方とを見切りながら進む。 ・友だちをよけながら止まらずに歩く。 ②ボールをよける。 ・チーム戦にして、相手チームが転がすボールをよけながら、宝（紅白玉）を運ぶ。 4. 学習のまとめ ○「にんじゃやしき」をつくってみんなで遊ぼう。 ・学習してきたことをもとに、自分たちでいろいろなコーナーをつくって遊ぶ。	
【児童の様子・反省】 ・「にんじゃ」という言葉から、体の動きについて様々なイメージを広げることができた。こちらがねらう動きをそのまま伝えるのではなく、児童のイメージしやすい言葉から学習への意欲を高めることができた。 ・どのような動きが「よける、かわす」となるのか、指導のねらいやポイントをもっとはつきりさせることが必要だった。 ・学習のまとめでは、ターザンロープなど学習していないものもやりたがった。身につけさせたい内容だけでなく、児童の思考を考慮しながら単元の途中でも学習内容を見直すことも大事であると感じた。	